

研 究 活 動 報 告

報告期間 2019年1月～12月

文学研究科

【哲学専攻】

<p>2月2日（土） 10：00-17：00 6404教室</p>	<p>2018年度哲学専攻修士論文口述試験を実施した。今回の修士論文提出者は、博士前期課程2年生の6名であった。1人あたり、発表・質疑応答合わせて50分の時間を設けた。教員6名のほか、院生10名の出席があった。受験者は指導教員をはじめとした出席者からの質問に答え、各自の修士論文の成果を報告した。</p>
<p>2月21日（木） 12：00-15：30 5101教室</p>	<p>2018年度哲学専攻修士論文研究報告会を実施した。博士前期課程1年生の4名が発表を行った。各自に50分の発表時間を与え、次年度の修士論文提出に向けた研究の進捗状況を報告した。本会は大学院生が中心となって企画したものであり、院生10名が参加した。今後の修士論文執筆の計画について、学生同士での活発な議論が行われた。</p>
<p>4月3日（水） 16：00-18：00 8202教室</p>	<p>2019年度の哲学専攻新年度ガイダンスを実施した。大学院の専任教員7名のほか、学部の教員1名、院生8名が出席した。ガイダンスでは、各教員よりそれぞれの講義内容や指導方針について説明があり、大学院哲学専攻の年間スケジュールを確認した。学生からは、それぞれの研究テーマ等について自己紹介が行われた。ガイダンス終了後は新入生歓迎会を行い、親睦を深めた。</p>
<p>7月6日（土） 11：00-18：00 6409教室</p>	<p>2019年度哲学専攻修士論文中間発表会を開催した。発表時間は質疑応答を含めて各学生45分間で、本年度修士論文を提出する予定のある博士前期課程6名の学生が発表を行った。教員は6名、院生は発表者を含めて11名が参加した。修士論文の完成と質的向上のため、出席者から多角的な意見が出され、活発な議論が交わされた。</p>
<p>10月26日（土） 14：15-17：30 6407教室</p>	<p>第29回白山哲学会を挙行了。本年度は本学の卒業生で国際哲学センター客員研究員の畑一成氏、本学教員の稲垣諭氏による研究発表が行われた。その後、東京大学名誉教授の高山守氏による退職記念講演が行われた。全体を通じて28名の参加者があり、それぞれの発表・講演について活発な質疑応答が交わされた。学会の終了後、学内レストランにて懇親会が執り行われた。</p>

【インド哲学仏教学専攻】

<p>4月3日（水） 15時～16時半 白山キャンパス 8号館2階 8203教室</p>	<p>インド哲学仏教学専攻ガイダンスを開催 大学院新生・在学生全員を集めてガイダンスを実施</p>
<p>6月26日（水） 13時～16時半 白山キャンパス 5号館4階 5404教室</p>	<p>春学期院生研究発表会並びに講演会を開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新生による研究計画発表 <ul style="list-style-type: none"> シスコ・マシュー（博士前期課程1年）「ツォンカパの生起次第の儀礼—Vajrabhairava, Cakrasamvara, Guhyasamajaを中心に」 崇昊（博士前期課程1年）「明代初期における臨済宗の動向」 2. 院生研究発表 <ul style="list-style-type: none"> 是松宏明（博士後期課程1年）「中世ジャイナ教の瞑想法について—Śubhacandra著Jñānārṇavaを中心に」 伊藤頼人（博士後期課程3年）「『マハーバーラタ』におけるダルマ神の課す試練」 板敷真純（博士後期課程3年）「初期真宗における真実報土の理解—特に了海の『他力信心聞書』を中心に」 藤井 明（博士後期課程3年）「タントラ文献におけるマントラの暗号化とその法則」 3. 講演 <ul style="list-style-type: none"> 陳継東先生（青山学院大学教授）「清朝仏教の面白さ」
<p>11月27日（水） 13時～16時半 白山キャンパス 6号館2階 6211教室</p>	<p>秋学期院生研究発表会並びに講演会を開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院生研究発表 <ul style="list-style-type: none"> 村田啓輔（博士前期課程2年）「『法華経』思想の継承—『度諸仏境界智光厳経』と『法華経』の関連について」 村田良子（博士前期課程2年）「Pātañjalayogaśāstravivarāṇaにおけるprāṇa概念の基礎的研究」 藤森 進（博士前期課程2年）「カウティリヤ実利論に引用されるアーチャーリヤたちの思考範囲と傾向」 プラマハバンジェット（博士後期課程3年）「悟りと律との関係の考察」 2. 講演 <ul style="list-style-type: none"> 高橋晃一先生（東京大学准教授）「唯識思想における他者」

【日本文学文化（国文学）専攻】

<p>1月23日（水） 13：30～16：55 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>2018年度 修士論文発表会の開催 修士論文提出者の発表、教員と博士前期・後期の学生および校友による活発な質疑応答が行われた。 【発表】（全員博士前期課程2年生） 入退室自由で参加者40名 開会の辞 三宅 和子 1. 山崎 直紀 助詞の研究 2. 二口 やよい 瞽女研究 3. 本田 愛里 宮沢賢治研究 4. 薬師寺 美穂 須賀敦子論 5. 劉 耀中 中島みゆき論—歌詞の中のノスタルジアについて— 6. 蓮見 菜那子 柳美里研究 閉会の辞 谷地 快一</p>
<p>7月3日（水） 14：45～17：35 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>2019年度 修士論文中間報告会・発表会開催 本年度修士論文提出予定の中間報告と修士論文発表（9月修了予定）、教員と博士前期・後期の学生および校友による活発な質疑応答が行われた。 【発表】（全員博士前期課程2年生） 入退室自由で参加者40名 開会の辞 三宅 和子 <修士論文中間報告会> 1. 中島 綾子 グローバル化時代の日本語教育の役割—EPAインドネシア人介護福祉候補者を事例に— 2. 黎 経桃 談話場面における「ちょっと」の多機能性 3. 青木 元子 『伊勢物語』の研究—仮名草子から浮世草子にみる享受— 4. 張 莉 芥川龍之介研究—不安の考察 <修士論文発表会> 1. 善教 祐 日本近代文学とそのマンガ化 閉会の辞 中山 尚夫</p>
<p>7月1日（月） ～5日（金） Monash University Prato Centre（イタリア、 トスカーナ州）</p>	<p>20th International Conference of the Utopian Studies Society：Utopia, Dystopia and Climate Changeにおいて博士後期課程3年生サウト・キアラ 7/5（金）口頭発表。タイトル："Alternative Utopia in Japanese Women's SF: an analysis of Arai Motoko 'Tigris and Euphrates'"</p>

<p>7月20日（土） 13：00～18：00 白山キャンパス 6B12教室</p>	<p>東洋大学日本文学文化学会 2019年度大会 開催 研究発表4件、信州大学教育学部准教授・友田義行氏を迎えての講演で構成され、多数の参加者をえた。 参加者数延約150名 開会の辞 東洋大学教授・日本文学文化学会会長 三宅和子 1. 歌ことば研究 ―和歌と俳諧における「短夜」の移りかわり― 東洋大学卒業生 梶原真美 2. 『徒然草寿命院抄』考 東洋大学大学院 博士後期課程2年 久保田一弘 3. 吉本ばなな「キッチン」論 ―語りに潜む存在― 東洋大学大学院 博士前期課程1年 石川幸恵 4. 芥川龍之介研究 ―「羅生門」における不安 東洋大学大学院 博士前期課程2年 張莉 5. 講演 「砂の女を読む／観る―安部公房と勅使河原宏の協働」 信州大学教育学部准教授 友田義行 閉会の辞 東洋大学教授・日本文学文化学科 I 部学科長 原田香織 総会</p>
<p>9月7日（土） ～9日（月） チュラーロンコー ン大学（タイ）</p>	<p>「国際日本研究」コンソーシアム/チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科日本語講座・Global Network for Gender Studies in Asiaにおいて、博士後期課程3年生サウト・キアラ 9/8（日）口頭発表。発表タイトル：村田紗耶香『殺人出産』と『消滅世界』におけるジェンダーフリーの世界</p>
<p>10月17日（木） ～19日（土） Kellogg Hotel & Conference Center of University of Michigan（米国ミ シガン州）</p>	<p>2019 Conference “Subaltern, Suburban and Subterranean”において博士後期課程3年生サウト・キアラ 10/18（金）口頭発表。発表タイトル：The “Other” on the Shore: Deconstructing the Post-Apocalyptic Space in Yoko Tawada’s Kentōshi</p>
<p>11月23日（土） ～24日（日） 共立女子大学</p>	<p>「日本近代文学会・昭和文学会・日本社会文学会合同国際研究集会：文学のサバイバル―ネオリベラリズム以降の文学研究」において、博士課程後期3年生サウト・キアラ 11/24（日）口頭発表。発表タイトル：対岸の「他者」に向けて―多和田葉子『献灯使』におけるポスト・アポカリプス的な空間の解体</p>

11月30日（土） 14：00～17：00 大正大学	佐佐木信綱研究会にて、博士課程後期3年生 清水麻利子口頭発表 発表タイトル：村岡花子宛片山廣子書簡からの考察－佐佐木信綱が結ぶ、短歌から翻訳への道
----------------------------------	--

【中国哲学専攻】

<p>3月16日（土） 10時40分～17時 白山校舎6号館 6409教室</p>	<p><午前の部>10時40分～</p> <p>【修士論文成果発表】</p> <p>樊玉文（東洋大学大学院博士前期課程）「楽府詩『陌上桑』の系譜」 于淼（東洋大学大学院博士前期課程）「日中戦争中の老舍小説における「葛藤する思考」—『四世同堂』を例として」 李慧淳（東洋大学大学院博士前期課程）「『頑主』の人物像に表れた王朔の意識」</p> <p><午後の部>13時～</p> <p>【博士前期課程 修士論文構想発表】</p> <p>劉雨佳（東洋大学大学院博士前期課程）「余華の作品における文化大革命」 楊若琳（東洋大学大学院博士前期課程）「奇形の文化と知恵—張愛玲が愛しく思う上海」</p> <p>【研究発表】</p> <p>豊田尚徳「近代の禮運大同-進化論・社会主義の伝統思想との結合」 水野あゆ（東洋大学大学院博士後期課程）「鄭振鐸『児童世界』と黎錦暉『小朋友』の内容比較 2」</p> <p>【基調講演】 16時～</p> <p>鶴成久章（福岡教育大学教授）「万曆四十四年の科場案に見る士人社会の腐敗」</p> <p>参加者数 40名</p>
---	--

<p>7月27日（土） 10時30分～ 16時30分 白山校舎6号館 6405教室</p>	<p><午前の部>10時30分～ 【博士前期課程 新入生研究構想】 鄭丹（東洋大学大学院博士前期課程）「謝靈運の山水詩について」 李華偉（東洋大学大学院博士前期課程）「『四書改錯』と『駁四書改錯』の比較分析」</p> <p>【博士前期課程 修士論文構想発表】 劉雨佳（東洋大学大学院博士前期課程）「余華『死者たちの七日間』の物語論」 楊若琳（東洋大学大学院博士前期課程）「張愛玲の愛した上海」 蔡佩吟（交換留学生・輔仁大学博士前期課程）「劉向の権謀観——『新序』『説苑』を通して」</p> <p><午後の部>13時～ 【研究発表】 劉心奕（東洋大学大学院博士後期課程）「羅洪先における主静思想の展開」 余祺琪（東洋大学大学院博士後期課程）「羅近溪の良知思想に関する一考察」 水野あゆ（東洋大学大学院博士後期課程）「葉聖陶『稻草人（かかし）』改稿をめぐって」 土田秀明「王陽明致良知論の構造と意味に関する一考察」</p> <p>【基調講演】 15時30分～ 中村聡（玉川大学教授）：「ことば」は「言」か「道」かーロゴスを中国哲学で考えるー</p> <p>参加者数 40名</p>
---	--

【英文学専攻】

<p>5月29日（水） 15：00-17：00 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>「春季院生発表会」 出席した在籍の院生全員が2019年を中心にした今後の研究テーマ・目的・方針・抱負などについて報告を行った。それぞれの報告に対して、有益なコメントが各教員から出された。参加人数：院生5名（博士前期4名、博士後期1名）、教員6名。</p>
<p>11月13日（水） 18：00-19：30 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>「秋季院生発表会」 12月7日の「第53回大学院英文学専攻協議会研究発表会」で研究発表予定の院生2名（博士前期1名、博士後期1名）が予行演習も兼ねて研究発表を行った。それぞれの発表の後、活発な質疑応答がなされ、研究発表の内容・質を高めるのに役立ったと思われる。博士前期2年の院生は修士論文の構想も発表した。参加人数：院生5名（博士前期4名、博士後期1名）、教員6名。</p>
<p>12月7日（土） 13：00-20：00 明治大学</p>	<p>「第53回大学院英文学専攻協議会発表会」 例年同様、150名近くの多くの参加者が集い、真剣な研究発表と熱のこもった議論や質疑応答が交わされた。本学から参加した院生は、4名（博士前期3名、博士後期1名）であり、そのうち2名（博士前期1名、博士後期1名）が研究発表を行い、高い評価を得た。本学の博士前期の院生の研究発表は英語による研究発表である。教員は4名が出席し、そのうち3名がアドバイザーとして参加した。夜には懇親会があり、本学から出席した教員と院生全員が参加し、こちらも盛会であった。</p>

【史学専攻】

3月31日（日） 青山学院大学 青山キャンパス	洋学史研究会第288回例会 博士後期課程 和田勤「勝海舟のペリ－来航時上書と徳川斉昭」
4月3日（水） 東洋大学 白山キャンパス	白山史学会 新入生歓迎「歴史学への招待」を開催。 博士後期課程 小池辰典「歴史学への招待－出来事の解釈－」
4月20日（土） 駒澤大学 駒沢キャンパス	地方史研究協議会第60回日本史関係卒業論文発表会 博士前期課程 川島丈尚「明治期における写真師島霞谷とその妻島隆」
5月11日（土） 東洋大学 白山キャンパス	白山史学会卒論発表会 博士前期課程 川島丈尚「明治期における写真師島霞谷とその妻島隆」
6月29日（土） 東洋大学 白山キャンパス	白山史学会第47回総会・第56回大会 博士後期課程 上村正裕「議政官組織の編成と王権」
7月6日（土） 東洋大学 白山キャンパス	東洋大学大学院 文学研究科史学専攻研究発表会 ＜日本史専攻＞ 博士前期課程 山田湧太「改氏姓からみる日本古代の氏姓制」 博士後期課程 小池辰典「第二次足利義植政権と諸大名」 博士後期課程 恵谷敏規「1837年におけるモリソン号の琉球来航－同船乗組員の琉球観に注目して－」 博士後期課程 和田勤「文久年間の対馬藩による対幕府援助請願運動と勝海舟」 博士後期課程 小林哲也「文久～慶応期における土佐勤王党への弾圧とその壊滅」 ＜外国史専攻＞ 博士前期課程 平田実里「中世後期プロイセンにおけるドイツ騎士修道会国家の成立－「プロイセン年代記」を中心に－」 博士前期課程 阮一通「辛亥革命後における地方分権状況と袁世凱政権の中央集権化政策」 博士後期課程 小林栄輝「唐後半期の河東の漢人武将－安史の乱勃発後の代州刺史についての一考察－」 博士後期課程 程楽「清末における袁世凱と京張鉄道の建設について」 博士後期課程 中村祐也「金允植にみる民衆観」

7月20日（土） 早稲田大学 戸山キャンパス	早稲田古代史研究会 博士後期課程 上村正裕「称徳・桓武王権論—皇位継承と官人編成からみた権力構造—」
10月5日（土） 電気通信大学	洋学史学会若手部会第14回例会 博士前期課程 川島丈尚「写真師島霞谷と島隆—日本初の写真師夫妻—」
10月27日（日） 青山学院大学 青山キャンパス	洋学史研究会第292回例会 博士後期課程 和田勤「勝海舟のペリ—来航時上書」
11月8日（金） 東洋大学 白山キャンパス	東洋大学人間科学総合研究所シンポジウム「『江戸無血開城』の史料学」 博士後期課程 和田勤「勝海舟史料からみた『江戸無血開城』」
11月10日（日） 東京大学 本郷キャンパス	第117回史学会大会（東洋史部会） 博士後期課程 中村祐也「近代朝鮮における西路電線の利用とその維持」
12月14日（土） 駒澤大学 駒沢キャンパス	戦国史研究会第481会例会 博士後期課程 小池辰典「明応の政変以降における将軍足利義材と諸大名—紀伊の畠山尚順を中心に—」

【教育学専攻】

<p>2月2日（土） 14：00～17：30 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>大学院修士論文報告会</p> <p>下記の大学院生が各論文の成果および進捗状況（研究目的と方法、研究の成果と課題）を報告し、質疑応答および討議を行った。博士前期課程在籍者9名、博士後期課程在籍者1名、教員14名の計24名が参加した。</p> <p>1. 大学院修士論文提出者による成果報告</p> <p>山口万葉子「特別支援学校教師のレジリエンスの構造と特徴—M-GTAを用いた教師の語りの分析—」</p> <p>加藤 伎 「「総合的な学習の時間」における探究概念と教員の役割の再考—J.デューイの教育思想からの検討—」</p> <p>川村美香子「看護師養成課程の大学化とその課題に関する研究—看護師養成制度と学生動態の変容を中心に—」</p> <p>李 ブン 「大学におけるキャリア教育についての一考察—日中の大学キャリアガイドブックの検討を通じて—」</p> <p>2. 修士論文提出予定者による中間報告</p> <p>濱谷敦子「看護学生の実習ストレスとレジリエンス—老年看護学実習に焦点をあてて—」</p> <p>木下 純「桑原正雄の思想形成過程に関する研究—1950年代における各論争の連関性に着目して—」</p> <p>須藤真人「特別支援学校（知的障害）における家庭科教育の変遷についての研究」</p> <p>張 ソウ「保育者のアイデンティティ形成に関する研究」</p> <p>小出敬一「特別支援学校（知的障害）における学校教育目標の設定と共有化に関する研究」</p>
---	---

<p>7月29日（月） 18：15～19：40 白山キャンパス 8504教室</p>	<p>大学院修士論文中間報告会</p> <p>下記の大学院生が各論文の成果および進捗状況（研究目的と方法、研究の成果と課題）を報告し、質疑応答および討議を行った。博士前期課程在籍者9名、教員15名の計24名が参加した。</p> <p>木下 純「桑原正雄と郷土教育全国協議会の活動軌跡に関する総合的研究－郷土教育論形成過程と郷土教育全協の活動指針－」</p> <p>須藤真人「特別支援学校（知的障害）高等部における家庭科教育の変遷と授業内容に関する研究－昭和47年度版学習指導要領から平成21年度版学習指導要領まで－」</p> <p>張 ソウ「保育者のアイデンティティ形成に関する研究」</p> <p>小出敬一「特別支援学校（知的障害）における学校教育目標の設定と共有化に関する研究」</p>
--	--

【国際文化コミュニケーション専攻】

<p>10月30日（水） 15：00～18：00 8301教室</p>	<p>「修士論文・博士論文等中間報告会」 2019年度に在籍する大学院生のうち5名（前期課程3名、後期課程2名）が各自の修士論文および博士論文に関する研究の中間報告を行った。本専攻の院生のほか、専任教員や他専攻の院生ら総勢16名が参加。 【前期課程】 YU MIO：断り表現に関する研究－日米中比較の視点から－ 牛冬二：異文化コミュニケーションにおける言語能力とアイデンティティ 呉俊虹：中国語を母語とする日本語学習者の「依頼」表現の研究 【後期課程】 天野将弘：Errorとmistakeの違いについて ダシルバロザ・エリアキン：(Re) Writing and Dialogue as tools to improve English Composition teaching at Japanese University</p>
<p>11月20日（水） 15：00～17：00 8301教室</p>	<p>尾崎真理子先生特別講演会「大江健三郎と現代日本文学」 本専攻非常勤講師で文芸評論家の尾崎真理子先生に、9月に全巻解説を書き上げられた『大江健三郎全小説』（講談社）を基に、大江と現代日本文学との結びつきをご講演いただいた。教員、大学院生、学部生など7名が参加。</p>

【英語コミュニケーション専攻】

<p>6月26日（水） 13：00～15：30 白山キャンパス 8号館 8301教室</p>	<p>大学院・英語コミュニケーション専攻 博士前期・後期課程学生による論文執筆中間発表会 博士前期課程4名、博士後期課程1名による、研究発表会が開催された。教員5名、院生8名が参加した。発表者の研究発表に関して、質疑応答および、助言・意見が出され、活発な議論が交わされた。</p>
<p>11月21日（木） 14：45～16：15 白山キャンパス 8号館 8302教室</p>	<p>大学院・英語コミュニケーション専攻 および 国際文化コミュニケーション専攻 同時開講の講義「テキスト理論」において中村桃子氏（関東学院大学経営学部教授）を招聘し、特別講演会（Gender, language, and Ideology）を開催した。学生7名、教員3名が参加し、講演について質疑応答および意見交換が行われ、活発な議論が展開した。</p>

社会学研究科

【社会学専攻】

1月28日（月） 18：10～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会2018年度第7回定例研究会 報告者：加藤剛（東洋大学客員研究員・京都大学名誉教授） 題目：〈学問〉とは何か？ フィールドで考えたこと、教室で感じたこと 出席者：院生博士前期2名、院生博士後期2名、教員5名、外部5名 計14名
2月5日（火） 15：30～17：00 白山キャンパス 8202教室	院生セミナー「修論・博論はこう書いた 体験者だからこそ分かる注意点」 講演者：柳瀬公氏、参加人数：25名、体験者として、修論・博論を書くにあたって注意すべき諸点を分かりやすく説明した。研究倫理についても詳しく論じてもらい、有意義であった。講演会後は懇親会を開催した。
5月13日（月） 18：10～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会2019年度第1回定例研究会 報告者：嶺崎寛子（愛知教育大学社会科教育講座准教授） 題目：「ムスリム女性」のステレオタイプに抗う——エジプト女性の宗教実践を事例に 出席者：院生博士前期2名、院生博士後期2名、教員5名、外部4名 計13名
6月24日（月） 18：10～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会2019年度第2回定例研究会 報告者：中村香子（東洋大学准教授） 題目：アフリカ牧畜民女性のライフコースの多様化——伝統規範にしばられず、開発ディスコースにもおどらされずに生きる術 出席者：院生博士前期2名、院生博士後期2名、教員5名、外部3名 計12名

<p>7月27日（土） 13：30～17：30 白山キャンパス 1303教室</p>	<p>2019年度白山社会学会大会の開催。参加人数：40名。講演者の旭先生の本務校、長野大学からノートテイクを含め多くの学生が参加し盛会となった。長野大学のバリアフリー授業の取り組みの事例は大変有意義なものであった。大会後は懇親会を開催した。研究発表の部では2名の報告があった。山口和海（西九州大学大学院）「地元間伐材の有効活用事例「木になる紙」が展開するグリーン 経済や福祉等への貢献」、渡辺芳（東洋大学非常勤講師、東洋大学大学院OG）「野宿生活と施設利用－川崎市の一時宿泊施設の利用者記録から－」。学会企画の部として講演を開催した。松本誠一（東洋大学）「社会学部60周年記念」、旭洋一郎（長野大学、東洋大学大学院OB）「障害当事者が教壇にたった意味と課題－23年間の教員経験から－」</p>
<p>7月29日（月） 18：10～20：30 白山キャンパス 8305教室</p>	<p>白山人類学研究会2019年度第3回定例研究会 報告者：Benny Baskara（Lecturer, Department of Anthropology, Halu Oleo University, Kendari, Indonesia） 題 目：The Expansion of Tabligh Jama'ah and its Influence on the Religious Belief of Bajo People 出席者：院生博士前期2名、院生博士後期2名、教員5名、外部5名 計14名</p>
<p>10月21日（月） 18：10～20：30 白山キャンパス 8305教室</p>	<p>白山人類学研究会2019年度第4回定例研究会 報告者：I Nyoman Darma Putra（Faculty of Literature and Culture, Udayana University, Bali, Indonesia） 題 目：Not for Sale: Artistic Reaction to Overdevelopment of Bali Tourism 出席者：院生博士前期2名、院生博士後期2名、教員4名、外部5名 計13名</p>

<p>11月24日（日） 18：10～20：30 白山キャンパス 8305教室</p>	<p>白山人類学研究会2019年度研究フォーラム</p> <p>13：00-13：10 あいさつ 松本誠一（東洋大学・教授）</p> <p>13：10-13：20 趣旨説明 宮下良子（大阪市立大学／東洋大学アジア文化研究所・研究員）</p> <p>13：20-13：50発表① 黒木宏一（新潟工科大学・准教授） 「大阪市生野区におけるデイサービスを拠点とした在日コリアン高齢者の地域生活とその特性」</p> <p>13：50-14：20発表② 鄭榮鎮（大阪市立大学・特任講師） 「八尾市における在日朝鮮人コミュニティの形成とトッカピ子ども会をめぐる権利運動について」</p> <p>14：40-15：10発表③ 中西雄二（東海大学・講師） 「国内移民の定着過程と『同郷性』—神戸在住奄美出身者の事例から—」</p> <p>15：10-15：40発表④ 宮下良子（大阪市立大学／東洋大学アジア文化研究所・研究員） 「被差別部落に混住する在日コリアンのエスニシティー—大阪府堺市の事例から—」</p> <p>15：40-16：00 コメント 野村伸一（慶應義塾大学・名誉教授）</p> <p>16：00-16：20 コメント 伊藤亜人（東京大学・名誉教授）</p> <p>16：20-17：00 ディスカッション</p> <p>出席者：院生博士前期2名、院生博士後期1名、教員3名、外部11名 計17名</p>
---	---

【社会心理学専攻】

2月4日（月） スカイホール	修士論文発表会（井上、内山、王、崔（凌）、蘇、高橋、代、田（楊）、田（蘭蘭）、范、李） 教員をはじめ、博士後期課程および前期課程の院生（40名ほど）が上記11名の修士論文の概要発表に参加し、質疑を行った。
2月7日（木） ～9日（土） Oregon Convention Center	The 20th Annual Convention of the Society for Personality and Social Psychology (SPSP 2019)（博士後期課程3名：陸、倉矢、沓澤） 上記の国際会議にてポスター発表を行った。
2月22日（金） 6B14教室	韓国の成均館大学校との合同研究会（前半）および社会行動研究会（後半） 前半は日韓の教員による口頭発表、および日韓の大学院生によるポスター発表を行った。後半は社会行動研究会として広島大学の教員による発表が行われた。参加者は約40名であった。一日をとおして、活発な議論が行われた。
3月7日（木） ～9日（土） Le Palais des Congrès de Paris - VIPARIS	International Convention of Psychological Science (ICPS 2019)（博士後期課程2名：陸、倉矢） 上記の国際会議にてポスター発表を行った。
4月12日（金） 8301教室	新入生（博士後期課程5名、博士前期課程7名）を含む大学院生と教員約30名が集まり、心理学研究での実験および調査を行う際に考慮しなければならない研究倫理に関して、専攻長より説明が行われた。
4月19日（金） 8301教室	東洋大学の北村英哉先生による講演会「非意識的過程と潜在的活性化」 上記の講演会に大学院生および教員が29名参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。
5月10日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士後期課程2名：陸、入山） 博士論文の進捗状況について、1名につき30分の発表と20分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
5月17日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士後期課程2名：沓澤、滝口） 博士論文の進捗状況について、1名につき30分の発表と20分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。

5月18日（土） ～19日（日） 東京大学駒場キャンパス	Humboldt Kolleg Tokio 2019 研究発表を行った。参加者は戸梶であった。
5月31日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士前期課程6名：河合、崔、新井、石橋、大田、丁） 修士論文の進捗状況について、1名につき15分の発表と10分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
6月7日（金） 8301教室	東北大学の阿部恒之先生による講演会「化粧と震災」 上記の講演会に大学院生および教員が32名参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。
6月14日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士前期課程7名：大久保、夏、片桐、小林、周、陳、綿貫） 修士論文の方向性について、1名につき7分の発表と3分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
6月21日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士後期課程5名：王、蘇、高橋（綾）、谷口、田） 博士論文の方向性について、1名につき15分の発表と10分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
6月28日（金） ～30日（日） 東海学園大学名古屋キャンパス	日本感情心理学会第27回大会 研究発表を行った。参加者は、北村、戸梶であった。
7月12日（金） 8301教室	東洋大学の佐藤亜樹先生による講演会「ペット喪失と飼い主の悲嘆と専門的援助の可能性」 上記の講演会に大学院生および教員が31名参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。
7月19日（金） 1B12教室	大学院生による研究進捗報告会（大学院生全員） 教員と大学院生の全員および学部生（39名）が参加し、研究の進捗についてポスター発表を行った。前半と後半の2グループに分かれ、教員との質疑応答や院生同士お互いにディスカッションを行った。

7月27日（土） Santiago de Compostela, Spain	Annual Conference of the European Association of Psychology and Law 2019（博士課程後期1名：滝口） 上記の国際会議にてポスター発表を行った。
8月24日（土） ～25日（日） 日本大学商学部	日本応用心理学会第86回大会 研究発表を行った。参加者は、教員は桐生であり、大学院生は、高橋（綾）であった。
8月31日（土） ～9月1日（日） 日本女子大学目白 キャンパス	日本犯罪心理学会第57回大会 シンポジウムの企画・話題提供、ワークショップ、研究発表などを行った。主な参加者は、教員では桐生であり、大学院生は、入山、蘇、高橋（綾）であった。
9月11日（水） ～13日（金） 立命館大学いばら きキャンパス	日本心理学会第83回大会 シンポジウムの企画・話題提供、研究発表などを行った。主な参加者は、教員では安藤、大島、尾崎、桐生、片山、北村、久保、戸梶、堀毛、松田、山田であり、大学院生は、陸、倉矢、入山、沓澤、滝口、山崎、蘇、高橋（綾）、谷口、河合、石橋、大田、山口、大久保、夏、片桐、小林、周、綿貫であった。
9月19日（木） ～21日（土） マレーシア大学サ バ校	The 7th Asian Congress of Health Psychology 2019（博士課程後期1名：王、博士課程前期1名：丁） 上記の国際会議にてポスター発表を行った。
9月27日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士前期課程6名：河合、崔、新井、石橋、大田、丁） 修士論文の進捗状況について、1名につき15分の発表と5分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
9月28日（土） ～29日（日） 帝京科学大学千住 キャンパス	日本健康心理学会第32回大会 ポスター発表を行った。参加者は、教員は松田であり、大学院生は、高橋（信）、王であった。
10月11日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士後期課程5名：山崎、王、蘇、高橋（綾）、田） 博士論文の方向性について、1名につき20分の発表と5分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。

10月18日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士後期課程2名：沓澤、高橋（信）） 博士論文の進捗状況について、1名につき30分の発表と20分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
10月25日（金） 8301教室	日本社会心理学会での発表者の予行演習を行い、本番を想定して先生方や院生から多くの質問がなされた。発表者は、大学院生の石橋、片桐、小林、綿貫であった。
11月8日（金） 8301教室 慶應義塾大学三田 キャンパス	研究進捗報告（博士前期課程6名：夏、片桐、小林、周、陳、綿貫） 修士論文の方向性について、1名につき10分の発表と5分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。 日本法科学技術学会第25回学術集会 口頭発表を行った。参加者は、大学院生の入山であった。
11月9日（土） ～10日（日） 立正大学品川キャンパス	日本社会心理学会第60回大会 シンポジウムの企画・話題提供、研究発表などを行った。主な参加者は、教員では安藤、大島、尾崎、桐生、片山、北村、久保、戸梶、堀毛、松田、山田であり、大学院生は、鷹阪、沓澤、山崎、河合、石橋、大田、大久保、夏、片桐、小林、綿貫であった。
11月15日（金） グランドハイアット東京	Discovery Summit Tokyo 2019 ポスター発表を行った。参加者は、教員では桐生であり、大学院生は、片桐、小林、周、綿貫であった。
11月22日（金） 8301教室	日韓共同セミナー 教員による講演（日本1名、韓国2名）、および大学院生による口頭発表（沓澤、滝口）を行った。参加者は学部生を含めて約40名であった。一日をとおして、活発な議論が行われた。夜には懇親会が行われた。
12月6日（金） 8301教室	日本体育大学の軽部幸浩先生による講演会「生理指標測定の実際」 上記の講演会に大学院生および教員が30名参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。
12月13日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士前期課程3名：河合、崔、新井） 修士論文の内容について、1名につき30分の発表と10分の質疑を行った。他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。

12月20日（金） 8301教室	研究進捗報告（博士前期課程3名：石橋、大田、丁） 修士論文の内容について、1名につき30分の発表と10分の質疑を行った。 他の院生および教員から口頭で質問が行われ、さらにコメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
---------------------	--

【福祉社会システム専攻】

1月24日（木） 白山キャンパス	修士課程最終試験（修士論文ないし特定課題研究論文の提出者に対する口述試験）は該当者がなく実施しなかった。
3月23日（土） 白山キャンパス	午後：学位記授与式（修士課程修了生0名）
4月6日（土） 白山キャンパス	新入生ガイダンス（修士課程新入生3名） 教員1名
8月1日（木） 白山キャンパス	中間報告会。報告者4名。教員8名
9月14日（土） 白山キャンパス	午前：学位記授与式（修士課程修了生0名）
9月14日（土） 白山キャンパス	新入生ガイダンス（修士課程新入生4名） 教員1名

法学研究科

【私法学専攻】

1月22日（火） 11：00～12：00 8205教室	修士論文口述審査 (私法学専攻博士前期課程は2名の修士論文について審査を行った)
1月22日（火） 16：00～18：00 8号館7階特別会議室 (公法・私法合同)	著名研究者による講演会 講演者：近江幸治（早稲田大学教授）
3月23日（土） 13：10～14：00 8205教室 (公法・私法合同)	大学院学位記授与式（博士前期課程私法学専攻修了生：2名） 大学院生活等に関する修了生アンケート実施 修了生のネットワーク構築について情報収集
4月2日（火） 15：00～16：00 私法学専攻1406教室	大学院新入生ガイダンス（博士前期課程私法学専攻6名、博士後期課程私法学専攻2名）
6月11日（火） 14：30～17：00 8号館7階特別会議室	2019年度第1回博士論文中間報告会（博士後期課程私法学専攻：3名レジュメ提出）
7月1日（月） 10：40～12：10 1202教室 (公法・私法合同)	実務家による講演会 講演者：松下砂夕美（ニューヨーク州弁護士・創・佐藤法律事務所でパラリーガル）
10月11日（金） 18：00～20：00 8号館7階特別会議室 (公法・私法合同)	著名研究者による講演会 講演者：マーティン・シュミット＝ケッセル（バイロイト大学教授）

10月17日（木） 10：40～12：10 1202教室 (公法・私法合同)	著名研究者による講演会 講演者：マーク・カワカミ（マーストリヒト大学准教授）
11月19日（火） 8号館7階特別会議室	2019年度年度修士論文中間報告会（博士前期課程私法学専攻2名）
11月25日（月） 10：40～12：10 1202教室	実務家による講演会 講演者：伊達裕成（株式会社ダウンゴ法務部長）
12月4日（水）～ 12月10日（火） 各演習授業教室	法学研究科授業相互聴講実施
12月2日（月） 12：10～13：00 8501教室	大学院生活等に関する個別相談会
12月4日（水） 14：15～14：45 8202教室	大学院生活等に関する個別相談会
12月6日（金） 16：00～16：30 法学部第30研究室	大学院生活等に関する個別相談会
12月17日（火）	2019年度第2回博士論文中間報告会

【公法学専攻】

1月22日（火） 11：00～13：00 8304教室	修士論文口述審査 (博士前期課程修了予定学生2名の修士論文の審査を4名の公法学研究科委員で行った。)
1月22日（火） 16：00～18：00 8号館7階特別会議室 (公法・私法合同)	著名研究者による講演会 講演者：近江幸治（早稲田大学教授）
3月23日（土） 13：10～14：00 8205教室 (公法・私法合同)	大学院学位記授与式（博士前期課程公法学専攻修了生：3名） 大学院生活等に関する修了生アンケート実施 修了生のネットワーク構築について情報収集
4月2日（火） 15：00～16：00 1407教室	大学院新生ガイダンス（研究科全体のガイダンスを1406教室で実施後） 公法学専攻でのガイダンス（博士前期課程私法学専攻4名）
6月11日（火） 14：30～17：00 8号館7階特別会議室	2019年度第1回博士論文中間報告会（博士後期課程私法学専攻：3名レジュメ提出）
7月1日（月） 10：40～12：10 1202教室 (公法・私法合同)	実務家による講演会 講演者：松下砂夕美（ニューヨーク州弁護士・創・佐藤法律事務所のパラリーガル）
10月11日（金） 18：00～20：00 8号館7階特別会議室 (公法・私法合同)	著名研究者による講演会 講演者：マーティン・シュミット＝ケッセル（バイロイト大学教授）
10月17日（木） 10：40～12：10 1202教室 (公法・私法合同)	著名研究者による講演会 講演者：マーク・カワカミ（マーストリヒト大学准教授）

11月19日（火） 16：05～17：20 8号館7階特別会議室	2019年度年度修士論文中間報告会（博士前期課程私法学専攻4名報告、1名欠席）
11月25日（月） 10：40～12：10 1202教室	実務家による講演会 講演者：伊達裕成（株式会社ドワンゴ法務部長）
12月4日（水） ～12月10日（火） 各演習授業教室	法学研究科授業相互聴講実施（専任教員の演習科目対象）
12月2日（月） ～12月5日（木） 昼休み等 8501教室等	大学院生活等に関する個別相談会（大学院執行部教員担当）
12月17日（火） 16：30～17：30 特別会議室 (8号館7階)	2019年度第2回博士論文中間報告会（報告者1名、参加教員5名、傍聴者3名）

経営学研究科

【経営学・マーケティング専攻専攻】

4月3日（水） 10：40～12：00 白山キャンパス 8号館8301	経営学・マーケティング専攻博士前期課程第1期生のガイダンスを実施した。新入生8名、指導教員、研究科長、専攻長が参加した。研究科長の歓迎の挨拶の後、専攻長より、本専攻の目標、研究指導の方針、院生として心得等について説明した。その後、主査・副査を担当する教員と院生が個別に研究テーマや今後の研究指導の進め方について打ち合わせを行った。
--	---

【ビジネス・会計ファイナンス専攻】

1月24日（木） 18：15-19：15 白山キャンパス 8206教室	2018年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文口述試験」を実施し、受験生は3名であった。
1月30日（水） 18：15-19：00 白山キャンパス 8205教室	2018年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文第1回中間報告会」が開催され、2019年9月修了予定者1名が発表した。
2月3日（日） 9：00-16：00 白山キャンパス 8304教室	2018年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（企業家・経営幹部養成コース、中小企業診断士登録養成コース）「修士論文・特定課題研究論文口述試験」を実施し、受験生は14名であった。
3月23日（土） 13：20-14：00 白山キャンパス 8204教室	2018年度（3月修了）学位記授与式が行われ、ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程17名に学位記が授与された。
5月29日（水） 18：15-19：00 白山キャンパス 8602教室	2019年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文第2回中間報告会」が開催され、2019年9月修了予定者1名が発表した。
5月29日（水） 13：00-15：00 白山キャンパス 8603教室	2019年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士後期課程「博士論文第1回中間報告会」が開催され、2名が発表した。
7月25日（木） 18：15-18：45 白山キャンパス 大学院セミナー室 6	2019年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文口述試験」を実施し、受験生は2019年9月修了予定者1名であった。
7月25日（木） 18：45-20：00 白山キャンパス 8602教室	2019年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文第1回中間報告会」が開催され、4名が発表した。

7月27日（土） 9：00-16：00 白山キャンパス 8301教室	2019年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（企業家・経営幹部養成コース、中小企業診断士登録養成コース）「修士論文・特定課題研究論文第1回中間報告会」が開催され、15名が発表した。
9月14日（土） 9：00-10：00 白山キャンパス 125ホール	2019年度（9月修了）学位記授与式が行われ、ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程1名に学位記が授与された。
10月16日（水） 13：00-14：00 白山キャンパス 8502教室	2019年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士後期課程「博士学位請求論文に関する公開研究会（公聴会）」が開催され、1名が発表した。
11月9日（土） 9：00-16：00 白山キャンパス 8301教室	2019年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（企業家・経営幹部養成コース、中小企業診断士登録養成コース）「修士論文・特定課題研究論文第2回中間報告会」が開催され、15名が発表した。
11月28日（木） 18：15-20：00 白山キャンパス 8301教室	2019年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文第2回中間報告会」が開催され、3名が発表した。

【経営学専攻】

2月4日（月） 9：15～15：45 白山キャンパス 8号館8304教室	平成30年度経営学専攻修士論文口述試験を実施し、対象院生は12名であった。
7月31日（水） 13：00～18：00 白山キャンパス 8号館8305教室	令和元年度経営学専攻博士前期課程の中間報告会（第一回）を実施し、対象の院生は7名であった。 令和元年度経営学専攻博士後期課程の中間報告会（3年次春学期）を実施し、対象の院生は1名であった。
11月6日（水） 10：00～17：00 白山キャンパス 8号館8602教室	令和元年度経営学専攻博士前期課程の中間報告会（第二回）を実施し、対象の院生は7名であった。 令和元年度経営学専攻博士後期課程の中間報告会（2年次秋学期）を実施し、対象の院生は2名であった。

【マーケティング専攻】

<p>2月5日（火） 10：00～12：40 8206教室</p>	<p>博士前期課程修了予定者5名の口述試験を行った。報告20分、質疑10分で行われ、すべての報告終了後、主指導教員、副指導教員、大学院授業担当教員による詳細な議論ののちに、合否を判定した。</p>
<p>4月3日（水） 13：30～15：00 8301教室 8302教室</p>	<p>8301教室に於いて30分間経営学研究科新入生全員に対するガイダンスを行った。その後、8302教室に移動し、マーケティング専攻博士前期課程入学者8名に対するガイダンスを行った。教員は演習を担当する7名の教員が参加し、学生の希望する指導教員との面談をしながら副指導教員を決定した。その後、主・副指導教授は学生に対し個別に初回の講義・演習に関し説明した。</p>
<p>7月31日（水） 10：30～13：00 8303教室</p>	<p>第1回 修士論文中間報告を実施し、博士前期課程2年生6名が報告を行った（報告15分、質疑応答10分）。博士前期課程1年生4名、教員8名が参加した。6名の報告者に対して、参加された指導教授、副指導教授、大学院授業担当教員から、多くの質問、指摘がなされた。そして、また今後の修士論文展開において有益なアドバイスも多くなされた。</p>
<p>7月31日（水） 13：15～13：45</p>	<p>博士前期課程修了予定者1名の口述試験を行った。報告20分、質疑10分で行なわれた。1名の博士前期課程学生の報告終了後、主指導教員、副指導教員、大学院授業担当教員、計6名による注意深い議論を行い、合否を判定した。</p>
<p>11月6日（水） 10：40～14：15 (昼休みを含む) 8202教室</p>	<p>第2回 修士論文中間報告を実施し、博士前期課程2年生6名が報告を行った（報告15分、質疑10分）。博士前期課程学生1年生4名、教員7名が参加した。2016年度から中間報告会を2度実施しており、年2度の中間論文発表会をうまく修士論文完成への手懸りとしている。8月実施の第1回中間報会では、修士論文の方向付けと内容の確認等の一般論的な指摘が主に行われた。そして、今回の中間報会では、より一歩進んだ内容に踏み込んだ質疑応答が行われた。</p>

経済学研究科

【経済学専攻】

1月12日（土） 10：40-12：10 白山キャンパス 8204教室	第1回外部講師による特別講義を開催 講師：東京大学大学院経済学研究科 金燕春特任研究員 テーマ：「Testing for Overconfidence Statistically: A Moment Inequality Approach」 教員1名、学生12名が参加し、活発な質疑応答が行われた
1月26日（土） 13：00-15：30 白山キャンパス 8205教室および 8206教室	2018年度修士論文口述試験。論文提出者8名（陸氏、須川氏、伊藤氏、戴氏、ホウ氏、葉氏、種氏、佐藤氏）について、各学生による報告の後、試験官教員（11名）より質問を行う。各試験官の評価及び研究科委員会の審議を経て、これら8名の修士論文を合格とした。
5月25日（土） 15：00-18：10 白山キャンパス 8301教室	第2回外部講師による特別講義を開催 講師：横浜国立大学 奥村綱雄教授 テーマ：「部分識別とは何か」 教員4名、学生24名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
6月6日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室	春学期論文発表会（第1回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各30分） (1) 王 爽（M2）「監査論 - 期待ギャップの存在 - 」 (2) 常 嘉利（M2）「非営利組織における情報開示のダイナミックゲームモデルの分析」 (3) 吉田 拓矢（M2）「産業・労働者の異質性を考慮した賃金のマクロ的推計」 教員5名、学生20名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
6月13日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室	春学期論文発表会（第2回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各30分） (1) 董 放（M2）「中国東北地域における男女賃金格差問題」 (2) トウ 雅文（M2）「日中韓FTA設立の可能性に関する分析 - 駆け引きモデルを用いて」 (3) カク 韻（M2）「日本と中国の電子商取引市場に関する比較分析」 教員6名、学生19名が参加し、活発な質疑応答が行われた。

<p>6月20日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>春学期論文発表会（第3回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) トウ 尚教（M2）「中国における贅沢品と需要と消費市場に関する実証研究」</p> <p>(2) 呉 学涯（M2）「税収優遇政策が中小企業のイノベーションに与える影響：浙江省を例として」</p> <p>(3) 曾 浩然（M2）「中国における営業税から増値税への変更が企業財務パフォーマンスに対する影響：江蘇省の実証分析を基に」</p> <p>教員6名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>6月27日（木） 16：30-17：50 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>春学期論文発表会（第4回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) 梁 嘉瑩（M2）「女性キャリアの形成－女性ホワイトカラーを事例に」</p> <p>(2) 陶 司晨（M2）「中国エコカー産業における税収政策とR&D支出の関係について」</p> <p>教員5名、学生19名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>7月4日（木） 16：00-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>春学期論文発表会（第5回）（D2, D4の論文中間報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) 肥田 親治（D2）「特定産業におけるブランド戦略の有用性についての研究 - 携帯電話メーカーの商品戦略を考察 - 」</p> <p>(2) 水村 陽一（D4）「規制改革による産業活性化と革新 - ドイツ手工業分野 規制改革の全容 - 」</p> <p>(3) 孔 徳毅（D2）「貿易・サービス・地域・金融システムから見た人民元の国際化」</p> <p>教員7名、学生20名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>10月3日（木） 16：30-18：00 白山キャンパス 8502教室</p>	<p>第3回外部講師による特別講義を開催。</p> <p>講師：(株) 日経メディアプロモーション 圓尾弘和氏</p> <p>テーマ：「最近の日本企業の採用活動について（大学院生・留学生の就活状況）」</p> <p>教員1名、学生9名が参加し、活発な質疑応答が行われた</p>

<p>10月10日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>秋学期論文発表会（第1回）（M1の論文中間報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) 王 晶（M1）「中国の循環型社会を構築するための検討－日本の先進事例を参考に－」</p> <p>(2) GAO RUICH（M1）「FDIが珠江デルタ地域の大气汚染に影響を与える研究」</p> <p>(3) 于 夢澤（M1）「中国における環境規制が製造業の産業構造調整効果に対する影響」</p> <p>教員5名、学生17名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>10月17日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>秋学期論文発表会（第2回）（M1の論文中間報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) 蔡 健（M1）「中国の産業集積におけるイノベーションサイエンスパークの特許申請を中心に」</p> <p>(2) 胡 宜（M1）「日本におけるコンテンツ産業に影響する要因を分析－映画産業を例として－」</p> <p>(3) 楊 思鎬（M1）「日本における年金改革を分析するための世代重複モデルの定式化について」</p> <p>教員6名、学生14名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>10月24日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>秋学期論文発表会（第3回）（M1の論文中間報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) 燕 夢培（M1）「中国における家庭老人介護が女性の就労に与える影響の実証分析」</p> <p>(2) 黄 尚柱（M1）「公的介護保険制度を補完する民間介護保険サービスの提供について」</p> <p>(3) 喬 恣博（M1）「訪日中国人における消費行動に関する分析」</p> <p>教員5名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>10月31日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>秋学期論文発表会（第4回）（M2の修士論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) 董 放（M2）「東北地域の経済発展と国有企業の改革－吉林省を例として－」</p> <p>(2) トウ 雅文（M2）「中国製造業製品の輸出競争力分析」</p> <p>(3) カク 韻（M2）「中国における第三者決済サービスの発展－アリペイを例とする」</p> <p>教員5名、学生20名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

<p>11月7日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>秋学期論文発表会（第5回）（M2の修士論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) トウ 尚敖（M2）「中国の若者贅沢品消費に関する実証研究－在日中国人および日本人と比較－」</p> <p>(2) 梁 嘉瑩（M2）「女性キャリアの形成－女性ホワイトカラーを事例に－」</p> <p>(3) 陶 司晨（M2）「エコカーの普及および消費者の購買意識に影響するファクターの社会経済的な視点からの検討」</p> <p>教員6名、学生19名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>11月14日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>秋学期論文発表会（第6回）（M2の修士論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) 王 爽（M2）「不正会計における監査機能の役割－不適切会計と企業の財務諸表の属性について－」</p> <p>(2) 常 嘉利（M2）「日本鉄道事業の民営化の経済効果－中国鉄道における民営化への示唆－」</p> <p>(3) 吉田 拓矢（M2）「財政政策がパートタイム雇用に与える影響」</p> <p>教員4名、学生19名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>11月21日（木） 14：45-16：15 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>経済学研究科・海外招聘教授による公開講座を開催</p> <p>講師：中国人民大学 関 権教授</p> <p>テーマ：「中国の経済発展と農村工業－「郷鎮企業」の意義と役割」</p> <p>教員5名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた</p>
<p>11月21日（木） 16：30-17：20 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>秋学期論文発表会（第7回）（M2の修士論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) 呉 学涯（M2）「税優遇が中小企業のR&D活動に与える影響：浙江省を例として」</p> <p>教員2名、学生22名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>11月28日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>論文報告会（第8回）（D1の論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>(1) 伊藤 翼（D1）「知事選挙が障害者施策の地方単独事業に与える影響」</p> <p>(2) 高浜 伸昭（D1）「市街地土地汚染対策の経済分析：制度的管理下の汚染区域における土地利用と土壌汚染対策－東京都の事例－」</p> <p>(3) 葉 青（D1）「ルイス転換点を超えてからの日本経済及び中国への啓示－労働市場、都市化、産業構造を視点として－」</p> <p>教員6名、学生19名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

<p>12月2日（月） 16：30-18：00 白山キャンパス 8304教室</p>	<p>第4回外部講師による特別講義を開催 講師：法政大学 牧野文夫教授 テーマ：「日本における所得・資産分布 - 経済発展と所得不平等 -」 教員1名、学生9名が参加し、活発な質疑応答が行われた</p>
<p>12月5日（木） 16：30-18：10 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>秋学期論文発表会（第9回）（D2、D4の論文報告、質疑応答含め各30分） (1) 肥田 親治（D2）「特定産業におけるブランド戦略の有用性についての研究 - 携帯電話メーカーの商品戦略を考察 -」 (2) 水村 陽一（D4）「開業促進政策と開業障壁 - ドイツ手工業秩序法の大改正に関する実証分析 -」 (3) 孔 徳毅（D2）「RCAを用いて中国の紡績構造の考察」 教員6名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

【公民連携専攻】

1月29日（火） 18：00～20：30 大手町サテライト	恒例の専攻の教育及び研究成果の外部への発表会。国内外の事例調査、優秀論文等8件の議題を各10分程度で発表。修了生を含む約50人が参加。
8月 各地	国内視察：長野県、鹿児島県他（希望する院生を引率して現地視察の後、自治体側の希望するテーマでの意見交換会を実施、延約50名参加） 海外視察：ロンドン他（PPPの最新事例を視察及び担当者へのインタビューを実施、修了生を含めて約10名参加）
10月28日（月） 大手町サンケイブ ラザ	省インフラ研究会セミナー（民間企業との連携機関である省インフラ研究会が年1回開催している外部向け講演会。本年度は「将来のインフラのあり方」をテーマに関連企業からのパネリストも参加してパネルディスカッションとして一般公開した。一般約50名が参加。
10月28日（月） 大手町サンケイブ ラザ	第14回国際PPPフォーラム。テーマは「合意形成」。米国オールドドミニオン大学ロン・カーリー氏、米国バージニア州アーリントン郡ロジャー・ムンター氏を招聘して実施。パネルディスカッションには富山市長、宮代町長も参加。一般約150名が参加。
10月～2020年1月 大手町サテライト	受験予定者向け公開講義。一般に実施している講義をそのまま授業参観の形で公開。計10回開催。現在実施中。

国際学研究科

【国際地域学専攻】

3月29日（金） ～31日（日） 西安大学	IASUR (International Alliance for Sustainable Urbanization and Regeneration) にて博士後期課程の湯浅岳史とプー・ソティアロットがそれぞれ“Current Water Quality of Inle Lake in Myanmar; A Potential Threat to the Lake Environment”、“A Study on the Institutional Framework of Suburban Land Subdivision in Cambodia: The Case of Phnom Penh Metropolitan Area”のタイトルで論文発表を行った。
5月23日（木） ～24日（金） プレトリア大学	4TH SOUTH AFRICA-JAPAN UNIVERSITY (SAJU) FORUMにて博士前期課程2年のンゾ・ズキソワが“Being Disabled in this Day and Age: Assessing Economic Empowerment of Japanese and South African Disabled Citizens”のタイトルで発表を行った。
5月24日（金） 木曾町文化交流センター	地域安全学会 2019年度春期研究発表大会にて博士後期課程2年の虫明一郎が「市区町村ホームページ調査から見た指定緊急避難場所、指定避難所の指定及び呼称等に係る課題について」のタイトルで発表を行った。
7月22日（月） ～24日（水） Université Paris 8	5th International Congress on Water, Waste and Energy Management にて、博士後期課程のレティフン・トゥルクが“The willingness to pay for wastewater service in the context of transitional phase of sewerage construction in Ho Chi Minh City, Vietnam”のタイトルで発表を行った。
8月23日（金） University of Seoul	Asian-Pacific Planning Societies 2019国際会議（主催：Korea Planning Association、日本都市計画学会が共催）に、博士課程前期2年のマロバツェホファソとザカウニタンブア・ウラミラがそれぞれ、“Transit Oriented Development Precincts: A Study of Various Potential TOD Precincts Surrounding Gautrain Stations in Johannesburg South Africa”, “Parking Management within Central Business District (CBD) Areas in Developing Cities: A Case Study of Lautoka, Fiji Islands”のタイトルで論文を投稿し、発表を行った。
8月27日（火） ～29日（木） 富山国際会議場	土木学会第27回地球環境シンポジウムにおいて、博士前期課程2年のグエン・ミー・リンとル・ボーン・ソレンがそれぞれ、“Motivation for Waste Separation among Hanoi Citizens”, “Challenges in Waste Management faced by an Island State - A case study in Seychelles -”のタイトルで研究発表を行った。

<p>9月3日（火） ～5日（木） 香川大学</p>	<p>土木学会 2019年度全国大会 第74回年次学術講演会にて博士後期課程2年の虫明一郎と湯浅岳史がそれぞれ「自治体のホームページにおける防災・減災に関する情報提供の現状について～首都直下地震緊急対策区域を対象にした地域防災・減災の調査結果から～」「ミャンマー国インレー湖のトマト水耕栽培による汚濁負荷量の推定」のタイトルで研究発表を行った。</p>
<p>9月12日（木） 徳島文理大学</p>	<p>日本計画行政学会 第42回全国大会で博士後期課程の虫明一郎が「地域の防災・減災を推進する上での行政執行上の課題について～首都直下地震緊急対策区域を対象にした市区町村ホームページ調査結果から～」のタイトルで研究発表を行った。</p>
<p>9月19日（木） ～21日（土） 東北大学川内キャンパス</p>	<p>第30回廃棄物資源循環学会研究発表会において、博士後期課程2年の周可と博士前期課程2年のグエン・ミー・リンがそれぞれ、「因子分析によるごみ分別への意識に影響を与える要因の検討－中国長沙市を事例として」, "Influence of past source separation practice on communities in Hanoi"のタイトルで研究発表を行った。</p>
<p>10月25日（金） ～27日（日） 東洋大学赤羽台キャンパス</p>	<p>第47回土木学会環境システム研究論文発表会にて博士後期課程2年の湯浅岳史と博士前期課程2年の加藤双美がそれぞれ「ミャンマー国インレー湖の水質環境の現状と今後の予防的保全措置の必要性」、「地域産材を利用した公共施設の利用者における木材活用に関する認知度と意識の分析」のタイトルで研究発表を行った。</p>
<p>11月16日（土） ～17日（日） 東京大学駒場キャンパス</p>	<p>国際開発学会大会にて、博士後期課程2年の湯浅岳史、柴田京子、Bhakta Kumar Puri がそれぞれ「ミャンマー国インレー湖周辺村落の水利用と汚水処理の実態」、「途上国における住民組織化と外部者の働きかけ－ミャンマー・シャン州の農民組織の事例から－」、「Community Development with the microcredit」タイトルで研究発表を行った。</p>
<p>11月22日（金） 東洋大学白山キャンパス</p>	<p>東洋大学国際共生社会研究センターとの共催で「戦略的研究基盤形成事業 成果報告シンポジウム 「国際貢献とSDGs」の実現－持続可能な開発のフィールド」を開催した。藪長千乃教授が「社会的保護・社会保障とSDG-持続可能な福祉へ向けた取組一」を研究発表した。</p>

国際観光学研究科

【国際観光学専攻】

1月26日（土） 本学1号館	2018年度大学院生発表会（秋学期・期末）を行った。あわせて修士論文審査会を行い、博士前期課程修了予定者7名から発表があった（参加者約30人）。
6月6日（木） 本学1号館	2019年度大学院生発表会（春学期・中間）を行った。（参加者約30人）
7月20日（土） 本学1号館	2019年度大学院生発表会（春学期・期末）を行った。あわせて修士論文審査会を行い、博士前期課程修了予定者1名から発表があった（参加者約30人）。
7月25日（木） 本学8号館	博士論文公聴会を行い、博士後期課程院生1名から発表があった（参加者約10人）
11月16日（土） 本学1号館	2019年度大学院生発表会（秋学期・中間）を行った。（参加者約30人）
10月19日（土） ～26日（土）	Mara MANENTE 教授（Ca' Foscari University of Venice, International Centre of Studies on the Tourism Economy）が招聘教授として来日、授業やシンポジウムで講演を行った。
10月21日（月） 本学8号館125記念ホール	国際シンポジウム「オーバーツーリズムへの取り組みと持続可能な観光の実現に向けて」（国際観光学研究科主催、国際観光学研究科学長施策（観光イノベーションプロジェクト～スマートツーリズムによる持続可能な観光）関連事業）にて、大学院生1名がオーバーツーリズムに関する発表を行った。
10月30日（水） ～11月8日（金）	中挾研究科長ならびに大学院生6名が、国際観光学研究科学長施策の一環としてイタリア・ヴェネチア大学CISSET（国際観光経済研究所。本学協定校）およびフィレンツェ大学を訪問し、現地調査を行った。
11月16日（土） ～23日（土）	Federica MONTAGUTI 研究員（Ca' Foscari University of Venice, International Centre of Studies on the Tourism Economy）が招聘教授として来日、授業やシンポジウムで講演を行った。

社会福祉学研究科

【社会福祉学専攻】

1月29日（火） 9：20-16：45 白山キャンパス 8301教室	2018年度秋学期中間報告会 報告者：17名 参加者：55名
3月16日（土） 13：00-17：30 白山キャンパス 6102教室	東洋大学福祉社会開発研究センターシンポジウム テーマ：「福祉社会の開発にむけた新たな展開－ICT等を活用した『つなぎ』の可能性に着目して」 参加者：110名
4月2日（火） 18：00-19：30 白山キャンパス 8502教室	新入生ガイダンス
7月27日（土） 15：00-17：00 白山キャンパス 8504教室	短期招聘研究者：李栖瑛氏（ソウルサイバー大学）講演会 テーマ：「韓国の社会福祉の最新の動向」 参加者：55名
7月28日（日） 10：00-17：00 白山キャンパス 125記念ホール	学長施策：東アジア諸国との研究交流公開研究会 テーマ：「東アジアにおける地域社会を支える支援の現状と課題～価値・政策・実践を通じて～」 孫彰良氏（朝陽科技大学）、巖春鶴氏（安慶師範大学）、阿拉坦宝力格氏（内蒙古財經大学） 李栖瑛氏（ソウルサイバー大学） 参加者：90名 第15回東洋大学社会福祉学会（社会福祉学専攻の学内学会） 参加者：120名
7月29日（月） 9：30-11：30 白山キャンパス 8301教室	留学生交流会「先輩からのアドバイスー東洋大学大学院で学んで」 孫彰良氏（朝陽科技大学）、巖春鶴氏（安慶師範大学）、阿拉坦宝力格氏（内蒙古財經大学） 李栖瑛氏（ソウルサイバー大学）

<p>8月6日（火） 9：20-17：20 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>2019年度春学期中間報告会 報告者：18名 参加者：55名</p>
<p>11月12日（火） 15：00-16：30 白山キャンパス 8号館8階 応接室2</p>	<p>学長施策の最終年度事業として2020年3月に部局間協定の調印を行う予定の朝陽科技大学Dean of College of Humanities & Social SciencesのDr. Liza Lee（李玲玉博士）が孫彰良氏と共に東洋大学白山キャンパスを表敬訪問し、福川伸次総長、竹村牧男学長、秋元美世研究科長、金子光一専攻長、志村健一教授、森田明美教授と面会した。</p>
<p>11月30日（土） 13：30-18：00 神戸大学大学院 経済学研究科 大会議室</p>	<p>社会福祉学研究科長の秋元美世教授が神戸大学で行われた大学院FD研修会「日本学術振興会学術システム研究センター人文学班・社会科学班合同学術動向調査・神戸大学学術動向調査プログラム」に参加した。</p>

ライフデザイン学研究科

【生活支援学専攻】

1月28日（月） 13：00～17：00 朝霞キャンパス 大学院演習室1・2	ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生6名、博士後期課程院生7名、専任教員9名が参加し、質疑応答が行われた。
2月13日（水） 10：30～13：00 朝霞キャンパス 大学院演習室3	教員8名が参加し、福祉社会デザイン研究科ヒューマンデザイン専攻子ども支援学コースの修士論文報告会が開催され、修了者の2名が発表を行った。また、生活支援学専攻子ども支援学コース修士課程1年生からの研究経過と研究計画発表が行われ、質疑応答が行われた。その後修士課程修了のお祝い会が行われた。
7月31日（水） 9：50～10：50 朝霞キャンパス 大学院演習室6	子ども支援学コースにて大学院中間発表会が開催され、修士課程の2年生が1名と、1年生が2名発表を行った。7名の教員が参加し、質疑応答を行った。
10月5日（土） 14：00～ 朝霞キャンパス 講義棟314教室	ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程1名、子ども支援学分野からは修士課程1名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生2名・修士課程1名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程1名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。
11月26日（火） 10：40～14：30 朝霞キャンパス 大学院演習室1	高齢者・障害者支援学コースにおいて、ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科合同で外部講師を招いて質的研究特別講座を開催した。博士前期・修士課程院生8名、博士後期課程院生5名、専任教員4名が参加し、講義と演習課題にとりくんだ。
12月10日（火） 10：40～14：30 朝霞キャンパス 大学院演習室1	高齢者・障害者支援学コースにおいて、ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科合同で外部講師を招いて質的研究特別講座を開催した。博士前期・修士課程院生7名、博士後期課程院生2名、専任教員3名が参加し、講義と演習課題にとりくんだ。さらに、修士課程院生2名が研究経過を報告し、質的研究分析について質疑応答が行われた。

【健康スポーツ学専攻】

4月3日（水） 11：30～13：00 朝霞キャンパス 大学院演習室3	入学者2名（修士課程）を対象にガイダンスを実施した。主に履修登録に関する注意事項、年間スケジュールの確認、連絡先の登録などを行った。
7月6日（土） 13：00～ 板倉キャンパス 1号館1101番教室 （特別講演）食堂 棟（ポスター発表）	川越、板倉、朝霞の3キャンパスの研究科を中心にした3キャンパス研究発表会に、朝霞キャンパスからライフデザイン学研究科健康スポーツ学専攻修士課程2年2名（中島徹哉、曾雪倩）、修士課程1年2名（水藤飛来、高橋里奈）、ライフデザイン学部健康スポーツ学科3年4名、およびライフデザイン学研究科教員（健康スポーツ学専攻4名、人間環境デザイン専攻1名）が参加し質疑応答が行われた。
7月24日（水） 16：00～18：00 朝霞キャンパス 大学院演習室7・8	第一回大学院中間発表を行った。発表時間15分、質疑5分とした。修士課程1年2名（水藤、高橋）、修士課程2年2名（曾、中島）が発表を行った。大学院担当教員10名、学部教員2名、学部学生3名が参加した。
8月25日（日） 15：00～ 朝霞キャンパス 大学院演習室7	オークランド工科大学Patria先生を招いて「オークランド工科大学の大学院の運営について」の講演（英語を使用）を行った。大学院教員8名、院生4名が参加した。
10月5日（土） 14：00～ 朝霞キャンパス 講義棟314教室	ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程1名、子ども支援学分野からは修士課程1名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生2名・修士課程1名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程1名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。
12月18日（水） 17：00～ 朝霞キャンパス 講義棟213番教室	第2回大学院中間発表会修士課程1年2名、発表時間15分、質疑応答10分とした。修士課程1年水藤飛来、高橋里奈2名が修士論文の中間発表を行った。修士課程2年2名、大学院担当教員11名、学部学生3名が参加し、質疑応答が行われた。

【ヒューマンライフ学専攻】

1月8日（火） 14：40～17：00 朝霞キャンパス 大学院演習室8	内田千春教授が、Dr. Christina Gillanders (Ph.D. in Educational Psychology, イリノイ大学) コロラド大学デンバー校、教育と人間発達学科 准教授を招聘し、2019年1月8日～17日まで朝霞キャンパスに滞在された。研究会を開催し、院生が取り組む研究を発表しディスカッションを行った。終了後歓迎の夕食会を行った。
1月12日（土） 13：00～16：00 朝霞キャンパス 講義棟213教室	Dr. Christina Gillandersによる講演とパネルディスカッションを開催した。テーマは「子どもの複言語発達とその支援」パネルディスカッション「日本の取り組み事例の紹介と議論」講師は、「就学前教育での言語文化的多様性の動向と、現在の保育の課題」内田千春教授、「群馬県大泉町の保育と学習支援の取り組みと現状」佐々木由美子准教授（足利短期大学）。コメンテーター：Dr. Christina Gillanders
1月15日（火） 13：00～16：00 朝霞キャンパス 大学院演習室8	Dr. Christina Gillandersと内田千春教授による大学院生との研究会。講演をふまえて議論を深めた。
1月16日（水） 10：00～18：00 朝霞市内公立保育園、生協学食	Dr. Christina Gillandersと内田千春教授は、保育園の見学へ行き、17時より大学院及び学部の教員でお礼のレセプションを行った。
1月28日（月） 13：00～17：00 朝霞キャンパス 大学院演習室1・2	ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生6名、博士後期課程院生7名、専任教員9名が参加し、質疑応答が行われた。
11月26日（火） 10：40～14：30 朝霞キャンパス 大学院演習室1	高齢者・障害者支援学分野において、ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科合同で外部講師を招いて質的研究特別講座を開催した。博士前期・修士課程院生8名、博士後期課程院生5名、専任教員4名が参加し、講義と演習課題にとりくんだ。
12月10日（火） 10：40～14：30 朝霞キャンパス 大学院演習室1	高齢者・障害者支援学分野において、ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科合同で外部講師を招いて質的研究特別講座を開催した。博士前期・修士課程院生7名、博士後期課程院生2名、専任教員3名が参加し、講義と演習課題にとりくんだ。さらに、修士課程院生2名が研究経過を報告し、質的研究分析について質疑応答が行われた。

【人間環境デザイン専攻】

8月27日（火） Harokopia大学 アテネ、ギリシャ	ENHR（European Network of Housing Research）2019年大会における研究発表 How to sustainably improve housing complexes facing serious aging problems : A Comparative analysis between 2 housing complexes in Tokyo（水村容子、中馬亮）
10月5日（土） 14：00～ 朝霞キャンパス 講義棟314教室	ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程1名、子ども支援学分野からは修士課程1名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生2名・修士課程1名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程1名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。
10月11日（金） 朝霞キャンパス	Roberto Trevisiol先生 ベルギーにおける芸術大学での教育法 ブリュッセル自由大学の成立と今日の教育に関する講義
10月14日（月） 朝霞キャンパス	Roberto Trevisiol先生 20世紀初頭におけるベルギーの共同住宅計画 第一次大戦前後の遊宅供給における社会的背景と現実、実施例の紹介
10月16日（水） 朝霞キャンパス	Roberto Trevisiol先生 19世紀後半の都市計画における3つのモデル パリ、バルセロナ、ウィーンの都市成立と近代との出会いを3つのモデルとして紹介
12月4日（水） 朝霞キャンパス	Contemporary Urban Planning, Design & Development in Stockholm & Sweden スウェーデン王立工科大学研究員 Mats Johan Lundstrom氏講演

福祉社会デザイン研究科 (2017年度まで)

【ヒューマンデザイン専攻】

1月23日（水） 10：00～13：00 白山キャンパス 6号館	福祉社会開発研究センター公開研究会「日本・中国における子育て支援研究」が行われ、博士後期課程院生3名が報告し、中国浙江大学徐琴美教授と専任教員がコメントした。また、博士前期課程院生7名、博士後期課程院生6名が参加し、質疑応答が行われた。（子ども支援学コース）
1月23日（水） 15：30～ 朝霞キャンパス 大学院演習室3	健康デザイン学コース博士後期課程中井真悟の学位（博士）審査、口述試験を実施した。公聴会には、院生4名、学部学生2名、大学院担当教員10名、学部教員2名が参加した。
1月27日（日） 11：00～16：00 白山キャンパス 8号館 125記念ホール	東洋大学福祉社会開発研究センターによる、2018年度国際シンポジウム「幼児教育・保育無償化と保育の質を考える～日韓の政策の現状と課題～」が行われ、子ども支援学コース博士後期課程院生6名参加し、質疑応答が行われた。
1月28日（月） 9：30～11：30 朝霞キャンパス 大学院演習室6	高齢者・障害者支援学コース修士論文口述試験が行われた。修士論文提出者4名が発表し、教員9名との質疑応答が行われた。
1月28日（月） 13：00～17：00 朝霞キャンパス 大学院演習室1・2	ライフデザイン学研究科・福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生6名、博士後期課程院生7名、専任教員9名が参加し、質疑応答が行われた。
1月30日（水） 10：00～12：30 朝霞キャンパス 大学院演習室7	子ども支援学コース修士論文口述試験が行われた。修士論文提出者3名が発表し、教員9名との質疑応答が行われた。
1月30日（水） 18：00～ 朝霞キャンパス 大学院演習室3	健康デザイン学コース博士前期課程2年二神 幹、荒木美智子の修士論文の口述試験を行った。 大学院担当教員12名、修士課程1年2名、博士後期課程3年1名、学部学生2名、学部教員2名が参加した。

2月13日（水） 10：30～13：00 朝霞キャンパス 大学院演習室3	教員8名が参加し、子ども支援学コースの修士論文報告会が開催され、修了者の2名が発表を行った。また、ライフデザイン学研究科生活支援学専攻修士課程1年生からの研究経過と研究計画発表が行われ、質疑応答が行われた。その後修士課程修了のお祝い会が行われた。
3月10日（日） 駒澤大学 駒沢キャンパス	3月10日開催の一般社団法人日本社会福祉学会関東部会2018年度研究大会の萌芽的研究部門で、子ども支援学コース博士後期課程の院生尹曉珊が研究報告をした。
5月20日（日） 早稲田大学 戸山キャンパス	子ども支援学コース博士前期課程3名が子どもの権利条約総合研究所研究大会に参加し、博士後期課程の院生尹曉珊が研究発表をした。
5月25日（土） 16：45～19：00 白山キャンパス 8号館 第2会議室	東洋大学人間科学総合研究所公開研究会で、「児童養護施設退所者への継続的支援に関する研究」について子ども支援学コース博士後期課程修了生の田谷幸子が研究報告をし、博士後期課程院生6名が参加。活発的な質疑応答が行われた。教員が2名参加してコメントをした。
6月12日（水） 8：00～17：00 救世軍恵みの家 救世軍ブース記念 老人保健グレイス	香港の救世軍の日本での研修があり、「救世軍恵みの家、救世軍ブース記念老人保健グレイス」を訪問し、子ども支援学コース博士後期課程院生2名同行通訳と意見交換をした。
6月24日（月） 11：30～13：30 白山キャンパス 6号館 1階 第3会議室	東洋大学社会学部主催の留学生交流会に子ども支援学コース博士後期課程院生2名が参加した。留学生の生活、研究や悩みなどに関することを先生と相談した。
7月20日（土） 白山キャンパス 5104教室	東洋大学人間科学総合研究所公開シンポジウム「移民・マイノリティと国籍」に博士後期課程院生2名が参加し、活発的な質疑応答が行われた。（子ども支援学コース）
7月20日（土） ～7月22日（月） 東洋大学 鴨川セ ミナーハウス	第9回社会学部サマーレスパイトデイズ活動に子ども支援学コース博士後期課程院生1人が参加した（交通費、宿泊費は社会学部予算2019年度社会学部教育・研究活動改革支援「東日本大震災復興支援を継続・発展させる学生の支援活動の開発」から支出）。

7月25日（木） 10：00～12：00 白山キャンパス 浦水会館302	東洋大学人間科学総合研究所公開シンポジウムモンゴル国在宅障害児支援活動団体の高橋生仁子先生により「モンゴル障がい児の現状と支援」に関する研究会が行われ、子ども支援学コースの博士後期課程院生3名が参加した。
7月27日（土） 14：45～16：15 白山キャンパス 8504教室	東洋大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻短期海外招聘教授公開研究会が開催され、韓国李ソヨン先生は「韓国の社会福祉の最新の動向－社会サービスを中心に－」に関する報告をした。博士後期課程院生9名、専任教員7名が参加し、質疑応答が行われた。（子ども支援学コース）
7月28日（日） 9：30～13：00 白山キャンパス	社会福祉学研究科 東アジア国際シンポジウムが開催され、台湾・モンゴル・中国・韓国の社会福祉学専攻博士学位取得者のシンポジウムと在学生の交流会に、本専攻から教員1名と子ども支援学コース博士後期課程院生6人が参加した。
7月28日（日） 白山キャンパス	東洋大学社会福祉学会が開催され、教員1名と子ども支援学コース博士後期課程院生4名が参加した。
8月18日（日）～ 8月19日（月） 東洋大学 熱海研修センター	大学院生11名（休学者を含む博士後期課程院生5名、社会福祉学研究科博士後期課程院生4名、博士前期課程院生2名）、博士後期課程担当教員3名、外部教員1名、修了生3名等による子ども支援学コース合同指導合宿が開催され、博士後期課程院生による研究発表と、質疑応答が行われた。
9月2日（月）～ 9月6日（金） 中国上海市と 浙江省ジャシン市	中国における0～3こどもの保育に関するシンポジウムが行われ、子ども支援学コース 森田明美先生が招聘され、日本の子ども・子育て支援について報告した。また、現地の子ども・子育て現場を視察し、関係者と意見交換をした。子ども支援学コース博士後期課程院生2名が同行し、通訳と質疑応答が行われた。
9月28日（土） 17：00～19：00 白山キャンパス 8305教室	第23回子どもの権利研究会が開催され、嵐山学園の上野陽弘氏による「こどもの心のケアハウス」について報告があり、本専攻子ども支援学コース博士後期課程院生6名が参加し、活発的な質疑応答が行われた。教員が2名参加してコメントをした。
10月5日（土） 14：00～ 朝霞キャンパス 講義棟314教室	ライフデザイン学研究科合同研究発表会が行われ、福祉社会デザイン研究科所属院生も参加した。高齢者・障害者支援学分野からは博士後期課程1名、子ども支援学分野からは修士課程1名、健康スポーツ学分野からはライフデザイン学部生2名・修士課程1名、人間環境デザイン学分野からは博士前期課程1名が、それぞれ代表して研究発表を行った。各専攻・分野の専任教員も参加し、質疑応答が行われた。

10月6日（日） 立教大学 池袋キャンパス M301号教室	日本子ども家庭福祉学会「子ども家庭福祉における子ども・保護者・家庭の位置づけ～家庭依存体制からの脱却と新たな公共システムの創生を目指して～」にて、森田明美先生の報告があり、子ども支援学コース博士後期課程院生3名が参加した。
10月30日（水） 白山キャンパス 井上円了ホール	国連子どもの権利委員大谷美紀子先生「世界中の子どもたちの人権が守られるために-国連子どもの権利委員会の活動と挑戦-」。本専攻子ども支援学コース博士後期課程院生6名、博士前期課程院生2名が参加した。
11月3日（日） 白山キャンパス 2号館3階 第一会議室	人間科学総合研究所主催「子どもの声聴いていますか-東洋大学・文京区」が開催され、教員2名と子ども支援学コース博士後期課程院生1名が参加した。
11月23日（土） 10：30～17：00 白山キャンパス 10号館A101	人間科学総合研究所と財団法人日本ユニセフ協会共催「災害時の子どもにやさしい空間と子どもの心のケア」研修に、教員1名と子ども支援学コース博士後期課程院生1名が参加した。
11月26日（火） 10：40～14：30 朝霞キャンパス 大学院演習室1	高齢者・障害者支援学コースにおいて、福祉社会デザイン研究科・ライフデザイン学研究科合同で外部講師を招いて質的研究特別講座を開催した。博士前期・修士課程院生8名、博士後期課程院生5名、専任教員4名が参加し、講義と演習課題にとりくんだ。
11月30日（土） 白山キャンパス 8305教室	第23回子どもの権利研究会が開催され、韓仁愛（ハン インエイ）先生（和光大学）が保育における歴史に関する研究報告をした。本専攻子ども支援学コース博士後期課程院生6名が参加し、活発的な質疑応答が行われた。教員が2名参加してコメントをした。
12月10日（火） 10：40～14：30 朝霞キャンパス 大学院演習室1	高齢者・障害者支援学コースにおいて、福祉社会デザイン研究科・ライフデザイン学研究科合同で外部講師を招いて質的研究特別講座を開催した。博士前期・修士課程院生7名、博士後期課程院生2名、専任教員3名が参加し、講義と演習課題にとりくんだ。さらに、修士課程院生2名が研究経過を報告し、質的研究分析について質疑応答が行われた。

【人間環境デザイン専攻】

8月3日（土） 16：00～ 朝霞キャンパス 大学院演習室1・2	博士（甲）論文提出者による公聴会が開催された。 題目：オストメイトのトイレ利用実態と整備のあり方に関する研究 発表者：熊澤宏夫
---	---